

公益財団法人 8020 推進財団
令和 2 年度 歯科保健助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： 高齢者歯科口腔機能健診

2. 申請者名：公益社団法人 東京都町田市歯科医師会

3. 実施組織：公益社団法人 町田市歯科医師会
町田市保健所

4. 実施の概要：

71 歳以上のオーラルフレイルを早期発見する健診を実施し、高齢者の口腔機能維持を支援する。口腔機能低下の予防により肺炎等の疾病の予防に繋がると共に、口腔健康の意識向上を図り高齢者の健康水準の向上および健康寿命の延伸をもたらす。高齢者の口腔機能の維持と支援、口腔機能低下の予防を図り、健康寿命の延伸に貢献できる。

5. 実施の内容

高齢者歯科口腔機能健診を行うにあたり、健診事業に協力して下さる町田市歯科医師会会員を募集します。健診事業に協力して下さる協力医には健診に必要な内容の研修を受講していただき修了後、高齢者歯科口腔機能健診を開始します。

健診内容は地域高齢者誤嚥リスク評価、摂食可能食品による評価、臼歯部咬合の有無、RSST、試料ガムによる摂食機能評価などを総合的に判定し、軽度の場合は摂食機能の改善指導を行います。中等度以上の場合は精密検査を行うことができる当会が指定した支援歯科診療所への受診を勧める。

支援歯科診療所では MNF-SF、舌圧測定器を用いた舌圧測定、開口カトレーナーを用いた開口力測定を行い、摂食機能改善への指導を行う。支援歯科診療所での改善が望めない場合は、当会で協力依頼をした二次医療機関への受診を勧める。

このように高齢者の口腔機能維持と支援、口腔機能低下の予防を図り、健康寿命の延伸を目的とします。

6. 実施後の評価

令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までの高齢者口腔機能健診受診者数は 354 件であった。今年度は新型コロナ感染症拡大の影響もあり受診者が例年と比べ 163 件減少しました。対象者が 71 歳以上ということもあり健診事業としては大きな影響が認められました、また受診者で中等度以上と診断され支援歯科診療所を受診された方は 70 件でした。これは全体の 19.8%で昨年度の 10.8%と比較して倍増しております。詳細の項目では、誤嚥リスクの分布割合は昨年度と同程度ですが咀嚼機能の検査では、低下の可能性のある方及び低下している方の割合が 19.7%から 25.6%と増加が認められました。リスク判定でも、異常なし、低リスク、中リスク、高リスクの 4 つの判定で高リスクと判定された割合が、10.6%から 18.0%と増加が認められております。これらのデータよりコロナ禍の外出制限の影響もあり高齢者のフレイルが進行しているような状況が読み取れます。次年度もコロナによる自粛制限の影響もあり受診率を上げていくのは困難と思われませんが、高齢者の健康維持のために健診の受診率を上げて予防していくことが必須と考えます。因って継続事業として健診を多くの方に周知して受診していただくように啓発してまいります。